

様式第4号

2025年4月1日

伊丹市議会議長
戸田 龍起 様

議員名 岸田 真佐人



2024年度政務活動費収支報告について

伊丹市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、別紙のとおり
2024年度政務活動費収支報告書を提出します。

(別紙)

2024 年度政務活動費収支報告書

議員名 岸田真佐人

1 収入

政務活動費 720,000 円

2 支出

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
調査研究費		
研修費		
広報費	720,000	チラシ作成、印刷 ウェブサイト作成と管理
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務所費		
合 計	720,000	

3 残額 0 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

政務活動費 出納簿

議員名：岸田 真佐人

(単位：円)

今年度(政務活動費)予算額 ⇒ 720,000

[illegible]

政務活動費集計表

議員名：岸田 真佐人

(單位：円)

支出総額: 720,000

[illegible]

参考書類 1

政務活動費における活動報告書

事業・活動の成果

- 1、街頭活動中、ウェブサイトの内容をもとに市民の意見を聞いた。
- 2、ウェブサイトのコメント欄から市民の要望を聞いた
- 3、ジャーナルを配布することで訪問活動を活性化することができた。
- 4、ジャーナルを配布することで公式ウェブサイトの閲覧者が増えた。
- 5、街頭でジャーナルを配布することで、市民との接点が生まれた。
- 6、ジャーナルで取り上げたトピックを市民と意見交換できた。

参考書類 2-1

〔調査研究費、研修費、**広報費**、広聴費、要請・陳情活動費、会議費〕 ※該当項目を○で囲む

報 告 書

		領収書 番 号	1.2.3.4
日時	2024 年 4/23 7/26 2025 年 1/30		
場所 (視察地)	大阪府泉佐野市旭町 1 3 - 1 7		
参加者 出席者 相手方	栗山 由壮		
目的 内容 結果 (成果) 等	目的 1. 自身の活動方針を市民に伝えるため 2. 自身の活動報告をするため 3. 市民からの要望を集めるため 4. 市民に活動報告をするため 5. ウェブサイトへの誘導をするため 6. ウェブサイトを毎日更新するため 内容 1. ウェブサイト運営 https://itaminomirai.studio.design/top 活動報告ブログ、活動方針、コメント 2. ジャーナル発行 (別紙) 成果 1. 街頭活動中、ウェブサイトの内容をもとに市民の意見を聞いた 2. ウェブサイトのコメント欄から市民の要望を聞いた 3. ジャーナルを配布することで訪問活動を活性化することができた 4. ジャーナルを配布することで公式ウェブサイトの閲覧者が増えた 5. 街頭でジャーナルを配布することで、市民との接点が生まれた		
上記活動に 要した経費	経費の内容・積算基礎等		金 額(円)
	ウェブサイト更新作業料 平日は毎日		360,000
	Journal デザイン・コピーライト・編集 2回分		256,000
	Journal 印刷費 4000 枚×2 回 3900 枚×2 回		104,000
	税		72,000
	合計		792,000

《領収書添付台紙》

		領収書 番 号	1
【領収書添付枠】（スペースが不足する場合は裏面を使用） ※重ならないように貼付すること。 ※按分の場合は、按分の内容と政務活動費として計上する金額を記載すること。			
支出内容	ジャーナルのデザイン・コピーライト・編集・印刷 ウェブサイト更新作業 3 か月分		
総経費	198,000 円	政務活動費として 計上する額	180,000 円
按分内容 ウェブサイト及びジャーナルの中で議員の写真や名前が占める割合は10%程度であるため、政務活動費を180,000円、自己負担を18,000円（10%支出）とした。			

領収書

2024.04.23
請求番号:20240423-01
請求番号:T9810744330454

岸田 まさと様

下記のとおりご請求申し上げます。

ご請求金額 ¥198,000-



栗山 由壮
〒598-0052
大阪府泉佐野市旭町13-17
phone 090-9612-0173
mail nombredesign@gmail.com

品番・品名	数量	単価	金額
Journal Vol.19			
デザイン制作費(ディレクション・デザイン・撮影・編集)	1	64,000	64,000
印刷費 4,000部	1	26,000	26,000
サイト更新料(4月・5月・6月)	3	30,000	90,000
		小計	180,000
		消費税(10%)	18,000
		合計金額	198,000

THE FUTURE OF ITAMI | Vol.19 2024

2024
Vol. 19

THE FUTURE OF ITAMI

Feature

なかいなりさと

対談 「中井成郷」

03/04

Publisher

Masato KISHIDA

Itami-City council member



対談

中井成郷 なかいなりさと

第3回「全4回」

子ども達の方をサポートしていくんだと。学校をサポートしていくんだという形に一旦変えたんです。



— PTAのこれから

岸田真佐人（以下 真）むつしゅは以前にPTA会長をされていて、今も学校運営協議会をやられていて、PTAはこれから変わっていくと駄目ですね。どういうイメージですか。これから何が変わらないといけないと思いますか。

中井成郷（通称「むつしゅ」以下 む）一応（現在はPTAの会長を）卒業したので、保護者の立場で外から見ると、一旦思考停止したじゃないですか。コロナで。

真 それは、行事が？

む そうです。全く動かなかった期間があったので。それはそれで言い方は悪いですけど、良い休憩になったように思います。

真 ちょっと、立ち止まって考える時間があったと。

む 僕は議員になるまでPTA

連合会の会長していましたけども、(代が替わった頃から)連合会からどんどん(各学校のPTAが)抜けていっているんですよ。

真 そうなんですか。

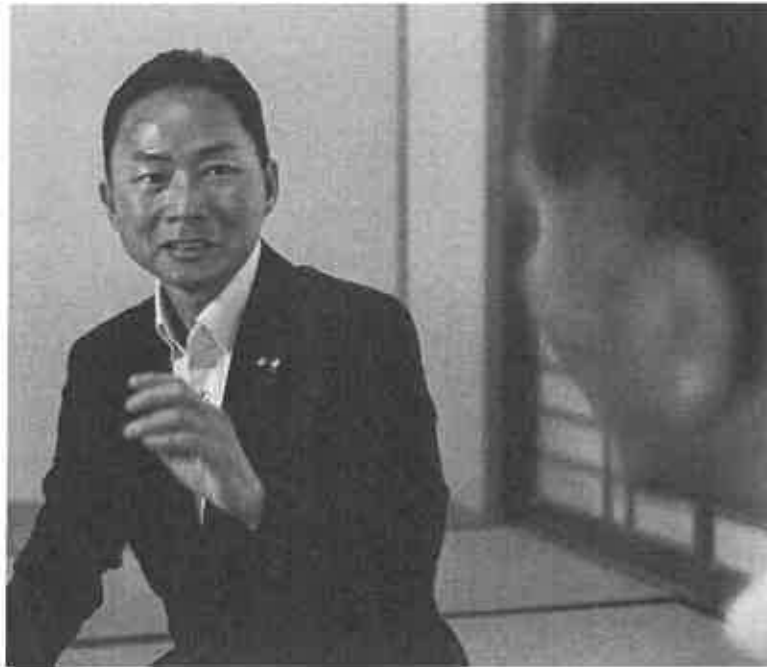
む とんどん抜けて今は半分ぐらいになっているのかな。半分はいつてないかな。それでも3分の1ぐらいは抜けていっているんですけど。

真 大きい(要因だと思つ)のは、あれは任意団体ということになっていて。10年ぐらい前から入る時は自分の意志で入るけど、入らないという(選択の)人も出てきたっていうのは大きな変化でしたよね。

む 僕は、ちょうどその間の時期に連合会の会長をしていたので、それをどうしようかというの大きな問題でしたね。

真 そうですね。

む 僕はPTAとしての仕事をどんどん減らしていきましようということをやってきた時代なんですね。



真 なるほど。あれって前年踏襲主義でやるので(仕事が)減るといふことがないんですよ。

む そこを変えていってくれと、それこそが改革だということ。PTA自体の仕事をどんどん縮

小していきましよう。人の動員というのを極力少なくしていきましよう、ということをやっていました。例えば、人権の大会とかがある時にPTAに(対して)動員がかかるじゃないですか。

真 かかる、かかる。

む それが嫌だ、とか。いざ献血をするとなるとまた動員がかかる。それが嫌だ、とかね。

真 もう動員の道具に使われているんですね。

む そういう状態だったので、それをやめていきましよう。人(の動員)を少なくしていきましようという時代でしたね。

真 なるほど、なるほど。教育業界では話題になったんですが、大阪の大空小学校がPTAを作らなかつたという話もありましたね。今後、PTAがなくなったらどうなっていくんでしょうね。

む うち(東谷)の中学校はPTAが一旦なくなつたんですよ。サポート隊という名称に変わって。真 それは、ボランティア団体になるということですか。

む そうですね。子ども達の方をサポートしていくんだと。学校をサポートしていくんだという形に一旦変えたんですけど。

地域と繋がる支援部隊

- む 今はココススクールという団体でやっているんですけど、それは地域と繋がって、地域に支援してもらいながらPTA活動を進めていくという方法になります。
- 真 ということは、保護者だけじゃないので分母が多いんですね。
- む そうなんです。
- 真 なるほど。
- む そういう組織に変わってきています。今後、(そういった方針で)動かそうとしています。地域の人に手伝ってもらうというのもあるけれども、逆に地域の行事を行う時に中学生を派遣するっていうのもやっていますね。
- 真 なるほど、なるほどね。
- む そういう学校支援部隊の中にココススクールというのを入れて活動をしていくというのを現在ではやっています。
- 真 それがあればPTAとか執行部とかいらない感じですか。
- む そうです。そこも会長というのを持たずにやっています。
- む 僕らはやってきたけど、地域で卒業式とか舞台の上で読んだりしていたじゃないですか。
- 真 はい、はい。スピーチを。
- む そうなのが好きだとか、そういう理由から仕事(の幅)がね、狭まっていたんですね。
- 真 なるほど、なるほど。
- む だからリーダーを作らない、会長を作らないとか、そういった形になっていきましたね。
- 真 でもコロナでPTAの会長の挨拶はなくなったり、式典のプログラムは短縮しても全然いいじゃないかみたいな話に自然となってきたんですね。
- この対談の様子は、下記のQRコードから「いたみのみらい」Webサイトで対談記事、動画で公開していきます。

CROSSTALK



中井 成郷
Narisato NAKAI

PROFILE

川西市議会議員
保護司
元会社員
元シャトレーゼFCオーナー
元PTA会長



伊丹市議会議員 岸田 まさと

Masato KISHIDA
Itami-City Council member

1964年生まれ。1989年から伊丹市で30年間、中学校教諭として勤務。2019年から伊丹市議会議員。「教育環境から変えていく」をテーマに伊丹市を盛り上げ「安住したい街」「移住したい街」をめざします。

いたみのみらいWebサイト 皆様の貴重なご意見を随時募集しています。



CREDIT

photo | copyright | edit | nombre |

《領収書添付台紙》

		領収書 番 号	2
【領収書添付枠】（スペースが不足する場合は裏面を使用） ※重ならないように貼付すること。 ※按分の場合は、按分の内容と政務活動費として計上する金額を記載すること。			
支出内容	ジャーナルのデザイン・コピーライト・編集・印刷 ウェブサイト更新作業 3 か月分		
総経費	198,000 円	政務活動費として 計上する額	180,000 円
按分内容 ウェブサイト及びジャーナルの中で議員の写真や名前が占める割合は10%程度であるため、政務活動費を180,000円、自己負担を18,000円（10%支出）とした。			

領収書

2024.07.26
請求番号:20240726-01
請求番号:T9810744330454

岸田 まさと 様

下記のとおりご請求申し上げます。

ご請求金額 ￥198,000-



栗山 由壮
〒598-0052
大阪府泉佐野市旭町13-17
phone 090-9612-0173
mail nombredesign@gmail.com

品番・品名	数量	単価	金額
Journal Vol.20			
デザイン制作費(ディレクション・デザイン・撮影・編集)	1	64,000	64,000
印刷費 4,000部	1	26,000	26,000
サイト更新料(7月・8月・9月)	3	30,000	90,000
		小計	180,000
		消費税(10%)	18,000
		合計金額	198,000

THE FUTURE OF ITAMI | Vol.20 2024

2024
Vol. 20

THE FUTURE OF ITAMI

Journal

Feature

なかいなりさと

対談 「中井成郷」

04/04

Publisher

Masato KISHIDA
Itami-City council member



対談

中井成郷 なかいなりさと

第4回「全4回」

PTAは結論というわけじゃないですけど、なくてもいいかなど。ただ学校を支える何かボランティア組織は必要かなど。

——来賓って必要？

中井成郷「通称」むつしゅ(以下む)
1つ川西の例としては、式典の時間を短くしようということでコロナで来賓も呼ばれませんでしたよね。PTAのスピーチも無くして、そのまま行きましようよ、と。岸田真佐人(以下真)それでいいと思います。

む ということ、今回の運動会から来賓席を設けない。地域の人に来てください、と。学校へお世話をしてる人に来てください。見えてやってください。というスタイルにして、議員さんと呼んだり、そういうのは無くしましよう、と。

真 素晴らしいですね。

む コロナ時にも言ったんですよ。コロナが明けてもそうしましよう。と提唱していて、今回、入学式の時はまだコロナの体制で



したから、明ける。というタイミングの6月の議会だったかな。そこでもう一度はつきり言って。この夏の運動会からはそういう制度でいきたいと思います。

真 結局その来賓席って設営も結構時間を取るし、それもまたPTAの仕事じゃないですか。

む そうそう、そうですね。

真 そういった仕事がなかったらココスクールだけで、PTAじゃなくてもいけますよね。

む はい、そういう事をしたんですよ。

真 なるほどね。

む コロナ明けて、来賓とかがない世界にしましたね。

保護者の代表

真 PTAは結論というわけじゃないですけど、なくてもいいかなと。ただ学校を支える何かボランティア組織は必要かなと。

む 本来は保護者の代表として、

その人としやべってれば良かったのかもしれないですけど、そう

じゃなくなってきたいて、いろんな繋がりができてきているし、学校

から配信したらアンケートが取れたり、今はするじゃないですか。

真 はい、はい。

む そういったことで直接学校と繋がってるっていうことがいっぱい

いできてきているんで。

真 デジタル化だね。

む そうです。個々の話は聞けるし、サイレントマジョリティも分

かってくるじゃないですか。

真 はい、はい。

む そんな中で、子ども達のために何かやってあげようというチームは要るのかなと思います。

真 ただ、その保護者の年代にな

ってくる、ボランティアの時間がないんですよ。

む そうです、そうです。

真 むしろ、おじいちゃんおばあ

ちゃんところにアプローチしないと学校を支える人って集まらないですよ。

む そうです、そうです。だから地

域学校共同活動という形で僕らは学校へ掃除に入ったり、花壇の

整理をしたりというのをやっているんですよ。それもワンコイン

ボランティアで週に1回草むきをやってもらってますけどね。

真 PTAっていう組織がなくて

も、おっちゃんのように校区に限定しなくてもいいですけど、その学校に関りたいなって思っている人がボランティアとして入ってこれるような形がいいですね。

む そういう地域をベースにした地域と関わりをしっかりと持って、

地域のお金で動くような形の団体が学校をサポートしていくという形になってくるだろうなとは思

いますけどね。

真 いや、そうでないともたないでしょうね。

む 今、学校運営協議会の一つの部会だ。みたいなイメージになったら学校としても良いんじゃないかな、と思いますけどね。



真 朝鮮学校のPTAの会長って保護者じゃないんですね。あれを見た時にこれでいいじゃないかと思って。もう学校をサポートする人は保護者じゃなくても。む じゃなくいい。できる人がやっただけ。

真 その地域のね。その地域に住んでいなくても別にいいし。

む 学校のためにやってあげようと思う人がやってくれたら、もうそれはありがたいし。でもまあ保護者の代表が変わってくると、そこから出てくる意見というのも(新鮮で)いいかなとは思うんですけど。

真 また、保護者がPTAという組織を作ったら保護者って子どもが現在学校にいるので、新しいアイデアが出しにくいんですね。子どもがいるところでしゃしゃり出るのはいやらしい。その点、子どもがいない人の方がこうしたらいいんじゃないかと、これをやめたらいいんじゃないかとかは、

まだ言いやすいんですね。

む そうそう、ありますよね。だから、学校運営協議会の会長とか副会長とかはもうその中で子育てが終わった人、保護者が終わって人がなってもらうべきだろうなと思いますね。

真 それがいいですね。

む それとやっぱり我が子が可愛いが出ますからね。

真 やっぱ、俯瞰できないですよ。

む そう、できない。やっぱり俯瞰できるような人が代表になるべきだろうなと思いますね。

真 ですよね。ありがとうございます。

この対談の様子は、下記のQRコードから「いたみのみらい」Webサイトで対談記事、動画で公開していきます。

CROSSTALK



中井 成郷
Naikato NAKAI

PROFILE

川西市議会議員
保護司
元会社員
元シャトレーゼFCオーナー
元PTA会長



伊丹市議会議員 岸田 まさと

Masato KISHIDA
Itami-City council member

1964年生まれ。1989年から伊丹市で30年間、中学校教諭として勤務。2019年から伊丹市議会議員。「教育環境から変えていく」をテーマに伊丹市を盛り上げ「安住したい街」「移住したい街」をめざします。

いたみのみらいWebサイト

皆様の貴重なご意見を随時募集しています。
TEL/FAX [072-784-8919]



CREDIT

photo | copyright | edit | nombre |

《領収書添付台紙》

		領収書 番 号	3
【領収書添付枠】（スペースが不足する場合は裏面を使用） ※重ならないように貼付すること。 ※按分の場合は、按分の内容と政務活動費として計上する金額を記載すること。			
支出内容	ジャーナルのデザイン・コピーライト・編集・印刷 ウェブサイト更新作業 3 か月分		
総経費	198,000 円	政務活動費として 計上する額	180,000 円
按分内容 ウェブサイト及びジャーナルの中で議員の写真や名前が占める割合は10%程度であるため、政務活動費を180,000円、自己負担を18,000円（10%支出）とした。			

領收書

2025.01.30
請求番号:20250130-01
請求番号:T9810744330454

岸田 まさと 様

下記のとおりご請求申し上げます。

ご請求金額 ￥198,000-



栗山 由壮

〒598-0052
大阪府泉佐野市旭町13-17
phone 090-9612-0173
mail nombredesign@gmail.com

[illegible]

THE FUTURE OF ITAMI | Vol.21 2024

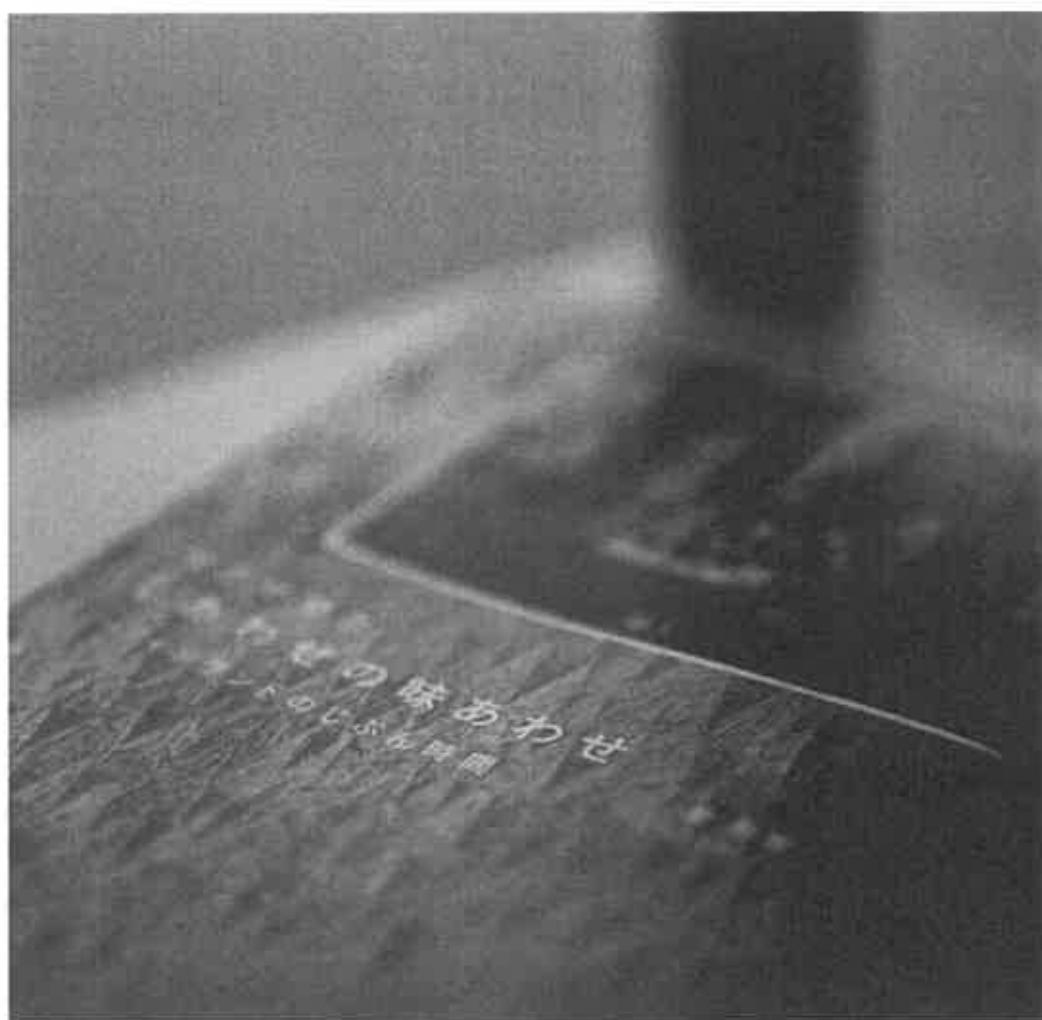
24-25
Vol. 21

THE FUTURE OF ITAMI

Feature

対談「星利昌」
ほしとしあき
01/04

Publisher
Masato KISHIDA
Itami-City council member



対談 星利昌

ほしとしあき
第1回「全4回」

マクヤマクしあわせの味あわせ—フィンランドのじぶん時間の著者星さんをお招きしてお話したいと思います。



—フィンランドへ行くまで

岸田真佐人(以下真)素晴らしい文章と写真でフィンランドの魅力を伝えているレシピブック『マクヤマクしあわせの味あわせフィンランドのじぶん時間』という本がきっかけで今回の対談が実現しました。その著者である星さんに私との出会いからフィンランドに渡られた経緯を伺っていきたいと思います。まず、私との出会いですが、当時笹原中学に転勤になり最初に担任したクラスに星さんがいました。当時、星さんは中学2年生でした。星さんは私の印象はどうでした？

星利昌(以下星)今までのやり方とは全く違う方法で生徒と向き合ってくれる先生だなと感じていました。生徒と同じ高さの目線に合わせ、一人ひとりに寄り添って

くれていました。20年以上前にそういう先生はいなかったです。

真 当時の星さんは凄いいサッカーが上手かった印象ですね。私はソフテニス部の顧問でサッカー部をよく見ていたわけじゃないですけど一人なんか違うなっていう異質なプレイヤーだと感じていました。ワールドカップを見に韓国まで行ったぐらいサッカーが好きだった私は自分ではプレイしないですけど上手いか下手かは分かるつもりだったんですけど衝撃でした。

星 そうですか？そう思ってたっているとは全く思ってたなかった。

真 もっと言えばよかったですね。

星 自信になってましたね。

真 翌年、私は違う学年になって進路には関われなかったんですがあんなにサッカーの上手い子はいこへ行くんだらうと気になっていて、サッカーの有名な高校に行くって聞いているほどなと思いました。

星 中学3年生の時に地域の北摂選抜に選ばれそのチームでは

兵庫県1位になりました。

真 兵庫県はレベルが高かったですからね。

星 そうですね。

真 当時サッカーを頑張ってた高校に行くと本にも書いてあるんですけど、そこでどん底にハマってしまったという。

星 ハマりました。勉強にはなりませんでした。貴重な経験といえば貴重な経験だけど合わない世界に行ってしまった。自分の持っている表現力や考え方を否定するように

なっていました。

真 なるほど。それで結局プロサッカー選手になるという道からは離れていったということですね。

星 スパッと諦めがついたので。

真 いわゆる結果オーライとは言えないけどー。

星 今、思えば、結果オーライにしているところですね。

真 進行中ですもんね。その後、外国語系の大学に行かれるんですよね。

星 僕は中学校の時、英語を意識



的にやらなかったのですが、高2

の冬にサッカーでプロになるというのを諦め、海外に目を向けた時にこれは英語を喋れないと何もできないなと。

真 なるほど。

星 そこから英語を勉強し出すんですけど、やっぱり、中学英語ってすごい大事だと思っんです。

真 思いましたか。

星 今でも思ってます。

真 いや、全くその通りですよ。

星 そこが抜けているんで苦労しました。今もめちゃくちゃ苦労してます。やっぱりあの時にできるのと今するというのはまたちょっと違うと思うので。

真 違いますね。

星 耳や脳が柔軟な時にやっていたかったっていうのがディスアドバンテージになって。今に振りかかってきているんですけど、それで、指定校で関西外大の短期学部にならなければという状況だったのが決断しました。

真 なるほど。

星 現地で意味に慣れ、喋った方が日本で時間をかけるより言語が身につくと大学の時にアメリカへ行ったときに思ったので、編入でセネガルの大学に行く計画を立てていました。

真 短期留学ですか。

星 バックパッカーですね。

真 そうなんですか。

星 サッカーで知り合ったセネガルの方がいたんで、もう編入で行ってやろうと思いました。セネガルに渡航してからは、ホームステイをしながら編入準備期間を含め3ヶ月滞在しましたけど、文化や食事が全く体には合わなくてメンタルもぐちゃぐちゃになっていて、冷静に物事が考えられなくなっていました。その状況の時に優しい日本人家族から日本の家庭料理をご馳走してもらって、心がほっとして。

真 食事で。

星 食事で戻りましたね。パッと

意識が戻って、サッカーも諦めて、これ(語学)も諦めたら自分なりにくじけるじゃないですか。

真 はい、はいはい。

星 その振る舞ってもらった料理で自分を取り戻させてもらって。

真 ターニングポイントですね。

星 そうです。それから日本料理が自分には必要だと思い、スタートすることになりました。

真 帰国して板前修行ですか。

星 そうです。自分では気付かなかったんですけど、日本の味が、自分を自分でいさせてくれていたことに気付いたんです。

真 板前修行と語学学習をして、それで行った先がフィンランドー。

星 そうですね。

真 なるほど。

この対談の様子は、下記のQRコードから「いたみのみらい」Webサイトで対談記事、動画で公開していきます。

伊丹市議会議員 岸田 まさと

Maasato KISHIDA
Itami-City council member



CROSSTALK

星 利昌

Toshiaki HOSHI

PROFILE

『マクヤマク
しあわせの味あわせ
フィンランドの
じぶん時間』著者

●makujamaku_hetsinki



1964年生まれ。1989年から伊丹市で30年間、中学校教諭として勤務。2019年から伊丹市議会議員。
「教育環境から変えていく」をテーマに伊丹市を盛り上げ「安住したい街」「移住したい街」をめざします。

いたみのみらいWebサイト

皆様の貴重なご意見を随時募集しています。
TEL/FAX [072-784-8919]



CREDIT

photo | copyright | edit | nombre |

《領収書添付台紙》

		領収書 番 号	4
【領収書添付枠】（スペースが不足する場合は裏面を使用） ※重ならないように貼付すること。 ※按分の場合は、按分の内容と政務活動費として計上する金額を記載すること。			
支出内容	ジャーナルのデザイン・コピーライト・編集・印刷 ウェブサイト更新作業 3 か月分		
総経費	198,000 円	政務活動費として 計上する額	180,000 円
按分内容 ウェブサイト及びジャーナルの中で議員の写真や名前が占める割合は10%程度であるため、政務活動費を180,000円、自己負担を18,000円（10%支出）とした。			

領收書

2025.01.30
請求番号:20250130-02
請求番号:T9810744330454

岸田 まさと 様

下記のとおりご請求申し上げます。

ご請求金額 ￥198,000-



栗山 由壯

〒598-0052
大阪府泉佐野市旭町13-17
phone 090-9612-0173
mail nombredesign@gmail.com

[illegible]

THE FUTURE OF ITAMI | Vol.22 2025

2025
Vol. 22

THE FUTURE OF ITAMI

Feature

ほしとしあき

対談「星利昌」

02/05

Publisher

Masato KISHIDA

Itami-City council member



対談

星 利 昌 ほし としあき

第2回「全5回」



フィンランドだったら仕事と家庭のワークライフバランスは、家族を一番大事にして、プラス仕事があるくらいです。

— デジタル化の違い

岸田真佐人（以下 真）日本と生活や文化の違いという点で、私が特に興味があるのは実はデジタル化ですよ。日本に帰って来られてフィンランドとの違いは何かですか？

星利昌（以下 星）遅れているとすごく思います。その一つの大きな理由としてデジタル化に切り替えて困るのはデジタル化に対応できない高齢の方で。日本ではその高齢の方たちのことを考えてじっくり変えていくというスタイルだと思んですけど、フィンランドはバシッと変えちゃいますね。そこがちよっと恐ろしいところでもあるんですけど、パンって一気に変えるんですよ。

真 いやでもね、そうでもないかと変わらないです。結局、日本で

なぜデジタル化が進まないかっていうとその重心は高齢者にあるんですよ。日本は高齢者の投票率が高いんです。そこでデジタル化を進めたら（政治家は）自分に票が入らないですから。実際、伊丹市は凄くデジタル化を強引に進めている自治体なんです。全国ランキングでもトップ5に入るくらい。それ（デジタル化）をすると圧倒的に仕事の時間が減るんですよ。人も少なくて済むんですよ。そしたら何が起きるかという（時間が）浮いた人をアナログ対応に当てられるんですよ。ちょっと苦手だという人にマンツーマンでついたりできるんですよ。

星 まずは変えていって対応していけば、若い人たちはもうできていますからね。

真 そうですね。

ワークライフバランス

真 次のトピックで言うワーク



ライフバランス。これも大分違う？

星 大分違います。日本の日本料理屋さんで、朝から晩まで働くというのとは普通だつたんですけどー。

真 飲食って（労働環境について）めちゃくちゃ言われてますよね。

星 そうです。時間、関係無し。技術を身につけたかったので僕にとっては良かったんですけど。そういった技術系の仕事は僕みたいな人間がいるから長くなっているのかもしれないですけど、日本だと

一生懸命やってその先に良いものが出て来るという考え方があると思います。

真 ありますね。

星 日本で頑張った後、フィンランドに行くと最初に言われたのが毎日疲れた状態で仕事をするんじゃないくて、もっと身体をリラックスさせて一番良い状態にすること。で良いものができるんだよ、とー。

真 ストンと落ちた？

星 かなり落ちましたね。

真 落ちると思います。だって星さんつてもともとそういう人間ですもん。私が見てた中学生の時も「頑張りすぎたらパフォーマスは上がらないよ」っていうのがわかってる感じがしたんですよ。サッカーでも肩に力が入ってないプレーが印象的でしたし、リラックスして良い状態に持っていかないと良いパフォーマンスは出来ないですよ。それが根付いてるってことですよね。

星 それが根付いてますね。

真 日本でそういうことを言ったら浮きます。確実に。

星 元々はそういう考えを持っていなかった。長時間労働するということは決められた時間に来ないっていう意識です。出来ない人が長時間労働するというー。

真 悪く言うと能力がないー。要領が悪い？

星 そういうことです。そういうふうに見られます。まだやってるんだ？「残業をやらないと駄目な

人なんだ」って思われます。

真 残業したら職場の電気代が凄いかかるんですよ。トイレの水道代とかもー。

星 長くなれば次の日も疲れを持ち越したりして。「良いものを作るために全てを捧げる」という日本人の特性というのもあると思うんですけどー。

真 でも家庭があつたらー。

星 家庭の時間はなくなります。

真 当然、家庭の雰囲気も良くないですよ。長時間労働したら。

星 そうですね。フィンランドだったら仕事と家庭のワークライフバランスは、家族を一番大事にしてプラス仕事があるくらいです。そういうところはフィンランドに行った最初の1週間くらいで気づいてー。

真 そうですか。違うなど。

星 ストレスがかかったまま生活をしていくというのが嫌な国民性なので。冬の気候もすごい厳しいのもあって、できるだけストレス

フリーにしていきたいところはあると思います。

真 それ自体がストレスになりますもんね。

星 仕事にかける集中力をオーバーさせることはしないですね。

真 そこまで頑張るすぎたら、冬を耐えられないとー。

星 そうです。あと、やっぱりオーバーした部分は頑張る必要がないという考えですね。

真 なるほどね。それは今、世界のスタンダードになりつつあると思います。日本もそうですよ。

星 ヨーロッパでは絶対スタンダードです。

真 ですよ。

星 完全にスタンダードです。

この対談の様子は、下記のQRコードから「いたみのみらい」Webサイトで対談記事、動画で公開していきます。

伊丹市議会議員 岸田 まさと

Masato KISHIDA
Itami-City council member



CROSSTALK

星 利昌

Toshiaki HOSHI

PROFILE

『マクヤマク
しあわせの味あわせ
フィンランドの
じぶん時間』著者
©makujamaku_helsinki



1964年生まれ。1989年から伊丹市で30年間、中学校教諭として勤務。2019年から伊丹市議会議員。「教育環境から変えていく」をテーマに伊丹市を盛り上げ「安住したい街」「移住したい街」をめざします。

いたみのみらいWebサイト

皆様の貴重なご意見を随時募集しています。
TEL/FAX [072-784-8919]



CREDIT

photo | copyright | edit | nombre |